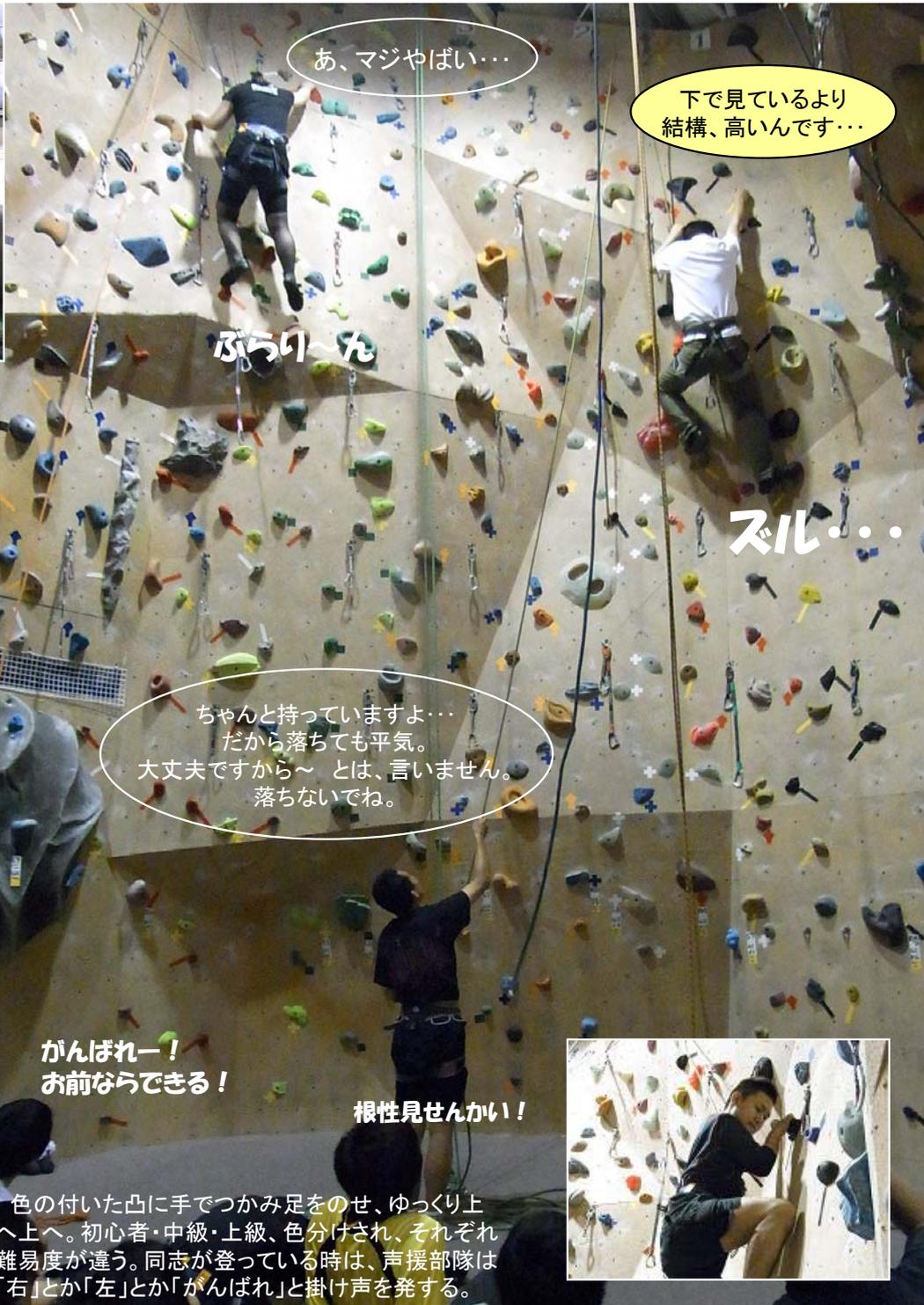


# 登る、すべる、落ちる、しがみつく。大切なものは・・・。



橋本監督による実演。  
見ていると簡単に見えるんですが・・・



あ、マジやばい・・・

下で見ているより  
結構、高いんです・・・

ぶらり～ん

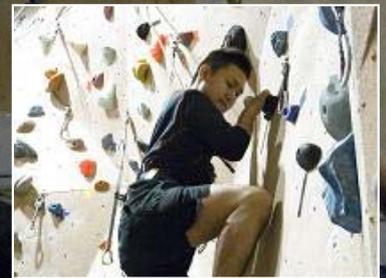
ズル・・・

ちゃんと持っていますよ・・・  
だから落ちてても平気。  
大丈夫ですから～ とは、言いません。  
落ちないでね。

がんばれー！  
お前ならできる！

根性見せんかい！

色の付いた凸に手をつかみ足をのせ、ゆっくり上へ上へ。初心者・中級・上級、色分けされ、それぞれ難易度が違う。同志が登っている時は、声援部隊は「右」とか「左」とか「がんばれ」と掛け声を発する。



## クライミングと仕事

1期生に続き今年もクライミング研修を。2期生たちは経験者ゼロ。まずはトライ。持参物は運動の出来る服装とタオルのみ。クライミングの体験は誰でもできる気軽さ。が、実は、このクライミングには仕事と共通する大きな意味が隠されていた。日ごろ使わない筋力を使って、体を支え、自分のペースでゆっくり1歩ずつ這い上がってゆく究極のバランス・スポーツだ。「あかん、もうだめや・・・」と諦めたら、またたくまに落下。「おもしろい。もっと上手になりたい」と熱望すれば、それなりの肉体づくりが必要とされる。うん、確かに仕事とまったく同じである！

↓皆で声援を。これが大事です。



## これが男たちのクライミング・ファッション？だ

←だらしないTシャツで参加した吉澤。後に「レレレのおじさん」と呼ばれていた・・・。  
↓アバター平野は、頭にタオルを巻いて誰かを威嚇していた。



アポロ管財の  
成海璃子  
人事部の山本さん



## アポロ管財 橋本真紀夫社長による講義

会社経営とクライミング。「常に一歩ずつチャレンジする」「もうこの辺りで止めておこうかな・・・」など、すべて仕事にも共通する。体作りが重要視され、一流になるには基礎的な体づくりが大切。「体は、ごまかしがきかない。鍛えたら締まるし、怠けたらたるむ」という言葉は、納得。



クライミングで鍛えあげた、これぞホンマものの男の手。

